

11月13日(火)から14日(水)の2日間、山口県セミナーパークで、第15回 Young Scientist Seminar (15th YSS) を開催し、日本、タイ、ベトナム、インドネシア、バングラデシュ、ドイツ、中国、ラオスの8か国の大学生および大学院生総勢100名が参加しました。

本セミナーは学生が主体となって運営を行っており、今年には本学農学部の学生が実行委員会(実行委員長:佐々木大斗さん、創成科学研究科博士前期課程1年生)を組織し、準備を進めてきました。

冒頭、Dr. Ngo Phuong Dung(Can Tho University, Vietnam)による開会挨拶の後、基調講演としてProf. Alissara Reungsang (Khon Kaen University, Thailand)、Assoc. prof. Hideki Araki (Yamaguchi University, Japan)、招待講演として Mochamad Nurcholis (Yamaguchi University, Japan)、Dr. Johannes Klinger (RWTH Aachen University, Germany)による招待講演があり、若手研究者との間で活発な議論が行われました。

その後行われたグループ討議では、若手研究者が8つのグループに分かれて英語で口頭発表と研究討議を行いました。参加した若手研究者は微生物学、応用微生物学、生物工学を中心に、あらゆる生物関連分野から集まっており、約70題の発表がありました。このグループ討議において各グループから選出された代表者6名は2日目の全体集会で発表を行い、Siriporn Lunpromさん (Khon Kaen University, Thailand)と Teeravut Agakkatajitさん (Kasetsart University Thailand)が Best Presentation Award を獲得し、本セミナーをサポートする伊藤真一教授(大学院創成科学研究科)から賞状が手渡されました。

